「審判請求書」作成見本
補正却下決定不服審判:意匠
弁理士が代理人の場合

【書類名】　審判請求書
（【提出日】　令和〇〇年〇〇月〇〇日）
【あて先】　特許庁長官　殿
【審判事件の表示】
　【出願番号】　意願〇〇〇〇－〇〇〇〇〇〇
　【審判の種別】　補正却下決定不服審判事件
【審判請求人】
　【識別番号】　０００００００００
　【氏名又は名称】　意匠　太郎
【代理人】
　【識別番号】　０００００００００
　【弁理士】
　【氏名又は名称】　意匠　一郎
　【電話番号】　０３－１２３４－５６７８
【選任した代理人】
　【識別番号】　１９０００１２３５
　【弁理士】
　【氏名又は名称】　意匠 二郎
　【電話番号】　０３－３５８１－１１０１
【連絡先】　担当
【手数料の表示】
　【予納台帳番号】　００００００
　【納付金額】　５５０００
【請求の趣旨】　意願〇〇〇〇－〇〇〇〇〇〇について、令和００年００月００日付でした補正に対して、令和００年００月００日になされた補正の却下の決定を取り消す。との審決を求める。
【請求の理由】
（１）手続の経緯
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
（２）決定の理由の要点
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
（３）本願意匠の説明と補正の説明
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
（４）要旨変更に係る争点の説明

本願については・・・・・・・理由により意匠登録されるべきである。

（５）補正の根拠及び要旨の変更でない旨の説明

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

（６）むすび

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

【証拠方法】　　証拠として・・・・・・・・・・・・

【提出物件の目録】

【包括委任状番号】　○○○○○○

代理権を証明する書面（委任状）について

手続補足書に委任状を添付して、インターネット出願ソフトの特殊申請機能（電子特殊申請）を利用して提出することもできます。

「審判請求書」作成見本
補正却下決定不服審判:意匠
弁理士法人が代理人の場合

【書類名】　審判請求書
（【提出日】　令和○○年○○月○○日）
【あて先】　特許庁長官　殿
【審判事件の表示】
　【出願番号】　意願○○○○－○○○○○○
　【審判の種別】　補正却下決定不服審判事件
【審判請求人】
　【識別番号】　０００００００００
　【氏名又は名称】　意匠　太郎
【代理人】
　【識別番号】　１９０００１２３４
　【氏名又は名称】　弁理士法人 パテント国際特許事務所
　【代表者】　意匠 一郎
　【電話番号】　０３－３５８１－１１０１
【連絡先】　担当は弁理士　意匠　二郎
【手数料の表示】
　【予納台帳番号】　０００００００
　【納付金額】　５５０００
【請求の趣旨】　意願○○○○－○○○○○○○について、令和００年００月００日付でした補正に対して、令和００年００月００日になされた補正の却下の決定を取り消す。との審決を求める。
【請求の理由】
（１）手続の経緯
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
（２）決定の理由の要点
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
（３）本願意匠の説明と補正の説明
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
（４）要旨変更に係る争点の説明
本願については・・・・・・・理由により意匠登録されるべきである。
（５）補正の根拠及び要旨の変更でない旨の説明
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
（６）むすび
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

【証拠方法】　　証拠として・・・・・・・・・・・・

【提出物件の目録】

　【包括委任状番号】　○○○○○○

代理権を証明する書面（委任状）について

**　手続補足書に委任状を添付して、インターネット出願ソフトの特殊申請機能（電子特殊申請）を利用して提出することもできます。**